

会派視察報告

救護施設 羽生園

9月定例会で、「埼玉県保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」(国の基準の一部改正を踏まえ、条例で定める救護施設及び更生施設に係る運営に関する基準を改定するための改正)が上程されているため、今回対象となる県内の救護施設 羽生園を視察させていただきました。

羽生園では様々な状況に置かれた方を、年齢や障がいや手帳の有無も特定せず、幅広く支援をされています。

職員の方のお話では、計画を立てて支援をすることで、羽生園を退園し、就労をして生活保護を辞退し、自立した生活を開始した方もおられるとのこと。

利用者の努力はもとより、職員の皆さんの温かいご支援があつてこそだと思います。



永久循環型トイレ(東京都)

11月6日、東京都江東区豊洲地内の屋外施設に設置されている「永久循環型トイレ」を視察させていただきました。

このトイレは、微生物の働きで排水など下水中にある毒性の窒素化合物を効率的に分解し、排水を使用可能な水質に浄化して洗浄用水として再利用できる仕組みで、浄化の過程で悪臭や汚泥の発生を抑制できる利点があります。



浄化施設

給水や排せつ物の汲取りが不要になることから公共施設での屋外トイレのほか、蓄電池を装備して電源を確保できることや、移動が可能という利点を生かし、トイレトレーラーと合わせて災害時のトイレとしても役立てられるものと考えます。

引き続き、研究してまいります。



ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。

発行

無所属県民会議
埼玉県議会議員

松坂喜浩

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



ブログ



埼玉県議会議員

まつざか

松坂よしひろ

県議会ジャーナル

第36号

令和6年11月発行

特集 9月定例議会報告 ほか

議会報告

9月定例議会報告 (9月25日～10月16日)

令和6年度補正予算 (概要・一部抜粋)

第1号: 50億1,156万円、第2号: 37億7,531万円 (総額2兆1,285億3,087万円)

- ・新生児マススクリーニング検査の対象拡大
- ・県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実

条例の制定・改正 (一部抜粋)

- ・埼玉県こども・若者基本条例
- ・埼玉県医師育成奨学金貸与条例の一部を改正する条例

地元と県をつなぐ / 会派視察報告



防犯のまちづくりキャンペーン



中山体育祭(急遽、スーツのまま持久走に参加!)



県議会広報ラジオ番組収録 (FM NACK5 11/27 14:00放送)



飯島町長(川島町)の町政報告会にて



今年も稲刈り



第47回 日本スリーデーマーチパレード

9月定例議会報告 (9月25日～10月16日)

知事から提出された議案は、補正予算2件、条例改正7件、工事請負契約の締結4件、事件議決2件です。

令和6年度補正予算 (概要・一部抜粋)

第1号：50億1,156万円、第2号：37億7,531万円 (総額2兆1,285億3,087万円)

新生児マススクリーニング検査の対象拡大

➡ 1億4,138万円

新生児に対して実施しているマススクリーニング検査(先天性代謝異常等検査)に、重症複合免疫不全症(SCID)(5万人に1人)、及び脊髄性筋萎縮症(SMA)(2万人に1人)を追加するための国の実証実験に参加し、2疾患を追加した検査を県内分娩取扱機関(さいたま市を除く)で出生した全新生児に対象を拡大して実施します。

県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実

➡ 7,153万円

スクールバスを利用できない医療的ケア児が福祉タクシー等を利用する場合に同乗する看護師の費用負担に係る支援について、当初予定は50人でしたが、増加が予想されることから必要な費用を追加で措置します。

現在、医療的ケア児のバス通学を可能にすること、そして看護師を同乗させることについての要望を頂いております。しかし、バス走行中に医療行為が行えないことや同乗する児童への対応、また大型車であり停車をすると交通渋滞を招いてしまいます。それらのことから、福祉タクシーに看護師が同乗し、医療的ケア児の通学支援をさせて頂いています。



福祉タクシー

【南中前交差点整備】 慢性化する交通渋滞解消に向けて南中前交差点整備計画を進めてきました。交差点用地確保等の諸問題から現状の道路用地内で最大限の右折帯(避譲帯)を確保し、多少ではありますが、渋滞解消に効果が出ています。



Before



After

条例の制定・改正 (一部抜粋)

埼玉県こども・若者基本条例

この条例は、こども・若者が有する権利が保障され、こども・若者が主体性を持って、自分らしく健やかに、かつ、幸せに成長することができ、安心してこども・若者を養育することができる環境の整備により、保護者・養育者、その他こども・若者を養育しようと思うものが子育て・子育てに希望や喜びを感じ、幸せに過ごすことができる社会の実現を目指すため、子育て・子育て推進に関し、基本理念を定め、県の責務並びに保護者・養育者、学校・保育施設等、事業者、民間支援団体及び県民の役割を明らかにし、子育て・子育てに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とします。

埼玉県医師育成奨学金貸与条例の一部を改正する条例

埼玉県の医師確保を目的とした埼玉県医師育成奨学金制度において、国の財源を活用した安定的な制度運営を図るとともに、奨学金の貸与を受けた者が制度から離脱することを防止するため、貸与(6年間)する奨学金に10%の利息を付すための条例の改正です。

地元と県をつなぐ

地元要望と政策要望を大野知事に提出

令和7年度予算要望として東松山市・吉見町・川島町の地元要望と合わせて県政全般に関わる事項229項目、各地元要望149項目、合計371項目の政策要望を取纏め、大野知事に提出しました。

提出した東松山市・吉見町・川島町の地元要望 (抜粋)

- 九十九川・新江川・市野川及び角川上流部未整備区間の整備。
- 外来・入院ともに助成対象年齢を18歳年度末まで拡大。
- 中小企業・小規模事業者への支援。
- 主要地方道鴻巣川島線の整備及び大里比企広域農道の県道攬上について。
- 川島インターチェンジ南側地区への企業誘致。
- 空き家対策の推進について。
- 放置状態の不用買取業者跡のゴミ山の解決に向けた予算措置について。



無所属県民会議の柱として

- ① 子どもや障がい者等、社会的弱者への支援。
- ② 大震災や近年激甚化している水害等、災害への備え。
- ③ 超少子高齢社会を見据えた人材育成・確保策の推進。

これからも更に県民皆様の声に耳を傾け、様々な課題に取り組んでまいります。



埼玉県議会議員

無所属県民会議

まつざか

松坂よしひろ

県議会ジャーナル

第37号

令和7年1月発行

議会
報告

12月定例議会報告

(12月2日～12月20日)

- 知事から提出された議案は、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、令和5年度決算の認定2件、条例改正12件、工事請負契約の締結2件、訴えの提起1件、指定管理者の指定6件、その他10件の合計38件。
- また、議員提出議案として条例制定2件、意見書8件、請願審査7件が提出されました。
- 令和6年度補正予算 第3号：9億5,707万円
(総額2兆1,294億8,795万円)



2月定例会にて松坂喜浩
が3月3日の午後1時から
一般質問で登壇予定です。



令和7年 東松山市賀詞交歓会



川島町 令和7年 二十歳の成人式



無所属県民会議を本年も宜しくお願い致します

警察官の増員 ～安全・安心の確保のため～

埼玉県警察官1人当たりの人口負担は全国1位であり、また、警察官1人当たりの刑法犯認知件



数も全国1位であります。扱う事案も多様化しており、対処する警察官が不足している現状でした。これまで埼玉県議会においては、国に対して「警察官の増員を求める意見書」を毎年提出し、要望活動を行っていましたが、令和7年度予算政府案に埼玉県警察官175人の増員が盛り込まれた旨の報告がありました。

増員数では全国1位であり、同規模県と比較しても多くの増員を頂くことができました。今後も県民の安全・安心の確保のため、全力で取組んでまいります。

埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形でその消息を絶ちました。これらの事件の多くには北朝鮮による拉致の疑いが持たれています。本県でも計21人の安否が未だに確認されていません。拉致問題の被害者などとその家族が高齢となる中で、時間的制約があるこの問題は、ひと時の猶予も許されない人道問題であり、一刻も早く解決されなければなりません。

埼玉県は拉致問題等の早期解決に向け、理解を深める取組について条例を制定、推進してまいります。



順天堂大学附属病院等整備の中止について

◆これまでの経緯

平成26年10月 大学附属病院整備計画を公募
【条件】医学系大学院の併設・医師確保
困難地域などへの医師派遣に積極的に協力

27年 3月 順天堂の病院整備計画を採用

令和 5年 5月 順天堂が令和9年中の800床開院、
令和4年度からの医師派遣とする
計画変更を県に申請 → 承認

5年 2月 済生会加須病院への医師派遣開始

6年 2月 秩父市立病院への医師派遣開始

6年11月 大学学長等が来庁し知事に面会、
整備計画の中止を報告

◆中止の理由

建設費の高騰、コロナ禍以降の医療機関を取り巻く環境の変化があり、実現に持っていくことが困難になったため。

◆医師派遣について

医師派遣の状況

- ・済生会加須病院 整形外科専門医（1名）
- ・秩父市立病院 内科専門医（1名）

（知事）県内への医師派遣については、引続き協力頂きたい。

（学長）現在派遣されている医師2名については、直ちに引上げることは考えていない。その後については、個別に相談させて頂く。

今年は2025年、かねてより重要視されて来ました2025年問題の年となりました。急速に加速する高齢化、それに対応するべく持続可能な社会を構築するために埼玉県が私の地元と連携して進める「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進。これに関しても地元の皆さま方に丁寧に説明をし、事業を進めて行ければと考えています。



ご意見・ご要望大募集!

みなさんの声を直接県政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的な意見、ご提案をお聞かせ下さい。



無所属県民会議
埼玉県議会議員

発行
松坂喜浩

〒355-0016 東松山市材木町19-28
TEL 0493-81-7638 FAX 0493-81-7663
E-mail matsuzaka@m4416.jp
ホームページ <https://matsu-yoshi.net/>
ブログ <https://ameblo.jp/m-yosshy/>

ホームページ



ブログ

